

みんなの声を胸に...

小学校連合体育大会

5月18日、三成運動公園陸上競技場で第12回奥出雲町小学校連合体育大会が開催されました。

町内全小学校の3年生以上が参加し、トラックとフィールドで25種目の熱戦が繰り広げられました。この日に向けて、児童たちは4月からそれぞれの小学校で練習を重ねてきました。普段とは違う雰囲気、緊張した表情を見せていましたが、これまでの成果を発揮しようと、全力で競技に挑戦する姿がみられました。

また、児童たちの頑張る姿に、各小学校の応援席や駆けつけた多くの保護者から熱い声援が送られました。児童にとって、自己記録への挑戦や他校との親睦を深めることのできた思い出に残る大会となりました。



子ども武者行列 要害山山城祭

5月29日、三沢地区の要害山において、戦国武将三沢氏の遺徳を偲ぶ山城祭が三沢城跡保存会の主催で行われました。

はじめに、古くから禊の水として言い伝えられている三澤池の水を汲む「お水取り神事」が行われました。その後、三沢小学校児童や三沢幼稚園児と地域の方が、手作りの甲冑を身にまとい、麓のみざわの館から山頂まで、ほら貝や太鼓の音を響かせながら武者行列を披露しました。



三献の儀



山開き神事

山頂では、児童たちにより戦の出陣式である「三献の儀」が行われ、敵を打ちとって、勝ち喜ぶことを意味する「打ち鮑（生アワビを叩いて延ばし干したのもの）」、「勝ち栗（干しグリ）」、「昆布（干したコンブ）」が大将に献上されました。「いざ、出陣じゃ。えい、えい、えい」「おー、おー、おー」と元気のよい掛け声が上がると、集まった地元関係者や保護者などから大きな拍手が送られました。続いて、山開き神事が執り行われ、登山者の安全と地域の発展を祈願しました。

大峠地区で携帯電話が利用できるようになりました

平成27年度の携帯電話等エリア整備事業（携帯電話基地局整備）により五の畑局（大馬木地区大峠地内）を開設しました。これにより不感地帯であった大峠地区において携帯電話が利用できるようになりました。

利用できる携帯電話事業者は、ソフトバンクです。



五の畑基地局の鉄塔

株式会社ケイズからご寄付を頂きました

株式会社ケイズから、設立40周年の記念事業として100万円が町に寄付されました。

株式会社ケイズは鳥取県米子市に本社がある様々なシステムサービスを提供する会社で、奥出雲町では住民情報を管理するシステムを導入しています。

松本 啓代表取締役から「私たちの会社が40年続けてこられたのも自治体を中心としたお客様のおかげであり、地域貢献の一環としてお世話になったお客様への還元をしていきたい」と勝田町長に寄付金を手渡されました。

寄付金については奥出雲町発展のため有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



松本 啓代表取締役から寄付金を受け取る勝田町長

奥出雲町消防団協力事業所

吉川工務店が認定されました

奥出雲町消防団協力事業所に吉川工務店（大馬木）が認定され、6月1日に町より表示証が交付されました。

この制度は、消防団活動に積極的に協力している企業に対して町長が表示証を交付し、地域の消防防災力の充実・強化等を一層推進することを目的に認定するもので、今回で9事業所目の認定となりました。



表示証を受け取る吉川光則社長

田植え交流会

大手食品総合企業と産地生産者

全国で外食・中食事業を展開する株式会社柿安本店（三重県桑名市）の赤塚保正社長らが町に訪れ、関係者と田植えをして親ほくを図る「田植え交流会」が5月17日、大馬木にある柿安指定農園で開かれました。

この日、赤塚社長らが田植機を使い、地元農家の方の指導を受けながら、およそ15㍍の田んぼに苗を植えました。

この交流会は、奥出雲仁多米の主催で4年前から始まり、毎年田植えの時期と稲刈りの時期の年2回開かれています。



田植え機を運転する赤塚社長